

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和3年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・区内全地活協を対象とした事例共有会を開催し、コロナ禍における地域活動の好事例を共有するなど、持続可能な地域活動に向けた支援を行っている。 ・入力作業の手間を減らすための新様式の導入や、補助金の取り扱い変更に係る支援など、地域役員の負担軽減に寄与するとともに、会計事務の適正な執行に向けたサポートを行っている。

評価項目

「事業の実施体制等」

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況
- (2-2) フォロー(バックアップ)体制等にかかる支援状況
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・業務責任者（アドバイザー）と支援員による支援体制にて、地域実情・課題の把握に努めるとともに、地域からの相談にも柔軟に対応できている。 ・課題解決に向けた進捗管理も行えており、区との定期的なミーティングにおいても情報・課題の共有が十分に図れている。 ・「オンライン体験会」の開催や、企業と連携したスマホ講座など、ICTを活用した市民QOL向上を支援している。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査では、「まちづくりセンターが、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると感じる割合」（95.2%）など、高い割合を維持している。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none">・オンライン会議や書面評決、地域活動拠点の ICT 化支援など、地域活動が停滞することなく新たな生活様式への変化にも柔軟に対応できる基礎付けとなるようなサポートを行っている。・区特性・課題を十分理解し、企業や学校・団体等と地域ニーズとのマッチングを試みるなど、多様な協働による地域づくりを推進していることは評価できる。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。